

# 地球環境子ども村だより

No.57



令和4年6月30日(木) 発行

梅雨に入り蒸し暑い日が続いています。新型コロナウイルスの影響はまだ残りますが、日常が少しずつ戻ってきています。子ども村の事業も今年中止することなく、今のところ順調に行われています。亀岡生き物大学も再開しました。予防に努めつつ、野外の活動を積極的に行っていきたいと思えます。では、子ども村便りを始めます。(=^・^=)

## ◎これまでの行事報告(2月～5月)

亀岡生き物大学 特別講座  
「冬の星座を観よう！」



2月25日(金) 午後7時～8時半 参加者:21名

星空案内:植木 永子(環境学習指導員)

まず、今夜見られる主な星座と、オリオン座の神話について紹介しました。また、諸星塾(亀岡天文同好会)の新川進さんに、美しい星雲の写真を提供して頂きました。

今夜の参加者は、星の図鑑や星座早見盤を持参し、お話を聞いてメモを取る子や、積極的に質問する子もいて、とても熱気が感じられます。外へ観察に出る時間には、どんどん雲が晴れてきて、南の空の星座たちがはっきり見えました。

星楽館の望遠鏡で、オリオン大星雲(M42)を観察してもらいます。「あ、なんかもやっと見える」「それが、オリオン大星雲です。星が生まれる場所ですよ。」ちいさなキラキラした4つの星(トラペジウム)の周りに星間ガスが見られます。「ずーっと見ていたいなー！」という子もいます。外では、諸星塾の中村さんが、レーザーポインターを使い、空の星を実際に指し示して星座や、星の名前の説明をしてくれました。次のはすばる(M45)「散開星団」と呼ばれる星の集団です。「うわー！星がいっぱい！」望遠鏡を覗いた子が、歓声を上げました。深々と冷える中でしたが、参加者は終了まで、熱心に星の観察を続けました。



オリオン大星雲(撮影:新川進さん)



亀岡生き物大学 特別講座  
「タンポポ教室」



4月9日(土) 午前10時～正午 参加者:11名

講師:鈴木 武さん(兵庫県立人と自然の博物館研究員)

まず、タンポポの種類について、関西の在来種の「カンサイタンポポ」と、海外から入ってきた「セイヨウタンポポ」の見分け方から教えていただきました。小学校の教科書や、アニメで取り上げられたタンポポのお話や、手作りの大きなタンポポ模型で、花の構造など教えていただき、とてもわかりやすかったです。

それから、野外観察に出かけました。晴れて暑いくらいでしたが、タンポポは元気に咲いていました。子ども達は先生に見つけたタンポポの種類を確かめ、摘んでいきます。宮前町神前の農道のあちらこちらに、タンポポが咲き、「カンサイタンポポだ!」「これは、雑種かな?」タンポポの観察を目いっぱい楽しむことができたようです。

最後に、摘んできたタンポポの綿毛になる部分を使ってクラフトを作りました。また、鈴木先生は飼育中のヘラクレスオオカブトや、ニジイロクワガタを参加者にご披露、みんな、角や頭に触らせて貰って大喜びでした。



カンサイタンポポが咲いています。

亀岡生き物大学 特別講座  
「春の野鳥観察会」



4月29日(金・祝) 午前10時～正午 参加者:20名

講師:八木 昭さん(鳥類保護連盟京都)

あいにくの雨、しかも本降り、野外での観察はできず、講義とバードコール作りになりました。まず、地球環境子ども村での野鳥の取り組みから紹介させていただきました。

八木さんの指導のもと、2016年から2019年まで毎年行ってきた巣箱設置と、野鳥の子育ての記録です。巣箱の中を職員が

定期的に写真を撮り、巣作りから、ひなの孵化、成長、巣立ちまで、特に巣立ちの場面は八木さんが数日かけて撮影に成功したので、臨場感たっぷりです。参加者は、興味深そうに見てくれました。また、八木さんがこの日のために撮りためた、亀岡のいろいろな野鳥の写真を紹介してくれました。特にコウノトリの写真は、どんな餌をとっているのかもはっきりわかり、勉強になります。参加者は、自分が撮った野鳥の写真を見せて、「なんという鳥ですか?」「これは、何でしょう?」と次々に質問して、八木さんは1つ1つ丁寧に答えてくれました。

それから、バードコール作りをしました。桜とメタセコイヤの木の好きなほうを選び、ネジを付けてそれぞれ鳴らしてみました。「これをもって公園に行く!」と子どもさんが嬉しそうに話しています。どんな野鳥がやってくるか、とても楽しみですね!



オリジナルのバードコールが出来た!

### 亀岡生き物大学 特別講座 「春の星座を観よう!」



5月6日(金) 午後7時半~9時 参加者:31名

星空案内: 植木 永子(環境学習指導員)

今日は珍しく高校生や大学生のご参加がありました。

講座では、今日見える月と春の代表的な星座「おとめ座」の神話のお話をして、実際に観察に出ました。空は、夕方から晴れて月や星がよく見えます。外では、天文同好会「諸星塾」のみな様と、未来リサーチセンターの石倉先生にもお手伝いいただき、合わせて4台の天体望遠鏡で星空の観察をしました。

星楽館の望遠鏡は、自動追尾が故障で出来ず、手動で合わせながら、五日の月(三日月より少し太めの月)をしっかり観察していただきました。一巡したころ、「もっと高い倍率で見たい!」と大学生からのリクエストがあり、接眼レンズを変えて見ていただきました。望遠鏡からはみ出すくらいに大きく見える月面、「穴がすごい!」「クレーターだ!」と喜んでいただきました。



五日の月(撮影:植木)

じっと目を離さず見続けていた子は、「月がとっても好き!」だそうです。「私と同じですね!」とてもうれしくなりました。今夜の体験が、心に残ってくれたら良いな、と思いました。

### 亀岡生き物大学 特別講座 「初めての家庭菜園」



5月14日(土) 午前10時~正午 参加者:20名

講師: 黒木要さん

(島本微生物工業(株)バィム農場技術指導課長)

まず、微生物が作る土と、元の農場の土を見せてくれました。微生物が作った土は、黒くフカフカしていて野菜がよく育ちそうです。それから、美味しい野菜の見分け方から SDGS のお話まで、クイズを交えて楽しい講義になりました。クイズは、正解すると1つミニトマトが貰えます。ボーナス問題もあって、全員で参加しました。あると、「やったー!」「あつた!」とうれしそうです。「1年間のごみ処理費用、1兆6千億円を積み上げると、どれくらいの高さか?」は特に考えさせられました。ごみの量を減らせば費用も減り、地球環境に負担をかけないはず。また、「亀岡市では、ごみの量がへっています。」亀岡市の取り組みもクイズで紹介していただきました。講義のあとは、牛乳パックを4つ合体させて、プランターを作り、最後に、ミニトマトを植えました。黒木さんは、丁寧に植え方や世話の仕方を教えてくださいました。黒木さんが、特製肥料と農場でとれたソラマメをお土産にくださったので、みんなニコニコ顔。夏に向かって、たくさんミニトマトが実ると良いですね!



トマトは朝夕の二回、水やりを!

さて、地球環境子ども村では7月~8月、夏休み特別講座を企画しています。子ども村の行事や催しについては、広報かめおかや、地球環境子ども村のホームページとフェイスブック、Instagramをご参照ください。お電話でのお問い合わせは、平日の午前9時から午後5時までお願いいたします。(文責:植木)

### 地球環境子ども村

〒621-0242 亀岡市宮前町神前長野15

TEL:0771-26-6100 Fax:0771-26-5002

Email: kodomomura@city.kameoka.lg.jp